

2 少子高齢社会に対応した地域福祉の推進

少子高齢化が進む中、子供や高齢者を取り巻く環境の変化に対応する体制づくりを進めるほか、障害者の社会参加を促す施策に力を入れます。



多様な保育需要に応えるための環境整備に力を入れています



1年前倒しで達成します 保育所の定員1200人増の計画を

安心して子育てができる環境を整えるため、昨年度から、保育所の待機児童の解消に向けた緊急整備に取り組んでいます。昨年度は、予定の六百人を上回る七百二十人の定員増を実施。今年度も、私立保育所の新築・改築への補助（四カ所）に加え、市立保育所（一カ所）を建設するほか、認可外保育施設などが認可保育所に移行するための支援を行うことで、六百十五人の増を行います。これによって、当初十七年度までを目標としていた千二百人規模の増員が一年早く実現することになります。

また、通常の時間を超えて保育を行う「延長保育」を七カ所増の百二十一カ所で行います。時間や日数が少ないパートなどの就労や、冠婚葬祭など一時的な理由による保育需要に

応える「一時保育」も、八カ所増の四十二カ所で行います。一方、十一月には、絵本やその読み聞かせなどを通じた

親子のふれあひ事業を市民会館で行います。絵本作家による講演会や、パネル展示、読み聞かせの実演など、絵本の世界の豊かさを体験できる内容を盛り込み、子育てや少子化問題について多くの市民の皆様とともに考えるきっかけづくりを行います。

予算 トピックス

子供関連複合施設が 来年春オープン

中央区の創成小学校跡地に建設を進めている札幌都心部統合小学校（中央区の創成・大通・豊水・曙小の統合校）に子育て支援施設などを併設した子供関連複合施設が、来年春にオープンします。

施設は、地下一階地上五階建てで、小学校はさまざまな学習形態に対応できるよう、廊下と教室の仕切りを可動式にしています。また、市民の皆さんにも

できるだけご利用いただけるよう、利用頻度の高い音楽室や家庭科室などを二階に配置します。一階部分には、休日にも親子同士が気軽に交流したり、育児について相談したりできる子育て支援施設や、ゼロ歳児から入所可能な保育所、放課後に児童が遊べるミニ児童会館を整備します。



中央区南3西7に建設中の子供関連複合施設（完成予想図）